

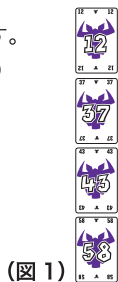


人数: 2人～10人 **年齢:** 8歳以上 **プレイ時間:** 30分
内容: 牛カード 104枚、 ルール説明書 1枚

テーブルにはカードの列が 4 つあります。プレイヤーは、自分の手札から出すカードを 1 枚選びます。全員が選び終えたら、カードを一齐に表向けにします。出されたカードを小さい順に、ルールに従って対応する列に並べていきます。
しかし、1 つの列には最大 5 枚までしか並べられません。6 枚目になるカードを出してしまったプレイヤーは、その列にあった 5 枚のカードをすべて引き取らなければなりません！
カードには 1 頭～7 頭の牛のマークが描かれていて、この牛の数がマイナス点になってしまいます。思わぬドラマが生まれる楽しいゲームです。
のろまな牛を一番多く引き取ってしまうのは誰でしょう？

ゲームの準備

- ・104 枚のカードをよくまぜて、伏せたまま各プレイヤーに **10 枚ずつ** 配ります。
- ・その他に、**4 枚**のカードを表にして、テーブルの中央に縦に並べます。(図 1)
- ・残りのカードは使いませんので脇に伏せたままにしておきます。
※10 人で遊ぶときはカードは余りません。

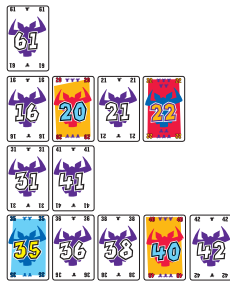


(図 1)

ゲームの進行

- ・全員が手札から任意の 1 枚を選んで、伏せて前に出します。
- ・全員揃ったら、**一齐に出したカードを表に**します。
- ・出したカードに書かれた**数字が小さいプレイヤーから順に処理**します。
- ・出したカードをテーブルの中央に並べられたカードの列の最後尾に付け足して並べます。
- ・付け足すカードの列は、**出したカードより小さく、一番近い数字のカード**が最後尾になっている列です。
- ・カードは数字の並び順と枚数がよく分かるようにきちんと揃えて並べてください。
- ・ただし各列には **5 枚までしか並べることができません**。付け足したカードが**6 枚目**になってしまう場合には、**それまでに並べられていた 5 枚のカードすべてを引きとり、自分の前に置きます**。(手札には加えません。このカードが失点となります)
出したカードを、新たに列の先頭のカードとして並べます。つまり、テーブルに並べられたカードは常に**4 列**になるようにします。
- ・出したカードの数字が、どの列の最後尾のカードより小さく、付け足することができない場合には、**任意の 1 列**を引き取って、**新たにその列の先頭のカードとして並べます**。引き取る列に何枚のカードが並んでいてもかまいません。
- ・以上の事を**手札がなくなるまで 10 回**行うと **1 ラウンド終了**です。

【例】 テーブルに (図 2) のようにカードが並んでいるとします。



(図 2)

【例 1】 4 人のプレイヤーが、「37」「65」「45」「46」のカードを出した場合。

カードは数字の小さい順に並べていきますから、まず「37」を「22」の次に並べます。
次は「45」を「42」の次に並べることとなりますが、これはこの列の**6 枚目のカード**になりますから、「45」を出したプレイヤーは、「35・36・38・40・42」の 5 枚を引き取り、出した「45」を、この列の新しい 1 枚目のカードとして置きます。
その次の「46」は置き換えられた「45」の次に、「65」は「61」の次にそれぞれ並べます。

【例 2】 出されたカードが、「5」「30」「62」「33」の場合。

「5」を置ける列がありませんので、「5」を出したプレイヤーは、**どれか一列のカード全てを引き取らなければなりません**。

「61」を引き取った場合には、そこに代わりの「5」を置きます。「30」は「22」の次にならべ、「33」を出したプレイヤーが「16・20・21・22・30」の 1 列を引き取ることになります。「65」を出したプレイヤーは、(直前に)「61」がなくなってしまったので、「42」の次に並べることになり、これはこの列の 6 枚目になってしまうため、「35・36・38・40・42」を引き取ることになってしまいます。

(実際のプレーでは、ほとんど起こりませんが)もし、「5」を出したプレイヤーが「61」の代わりに「16・20・21・22」の列を取れば(ルール上は問題ありません)、「30」を「5」の次に、その次に「33」を並べ、「65」は「61」の次に並べるだけで、ほかのプレイヤーはカードを引き取る必要がなくなります。

得点計算

- ・引き取ったカードの**牛のマークの数が失点になります**。白いカードはマイナス 1 点で、色のついたカードは 1 枚で 2～7 失点になります。
一番失点の少ないプレイヤーが勝者です。

ゲームの終了

- ・何ラウンドかプレイして、誰かが **66 点を超えたらゲーム終了**です。

バリエーションルール (追加ルール)

- ・ニムトのオフィシャルバリエーションルールです。基本のルールでたっぷり遊ばれたあとに
お楽しみください。

1. 【戦略】 (4 人以下の時にオススメです)

ゲームに使用するカードがすべてわかっています。104 枚のカードのうち、必要なカードのみを使います。つまり、**少ない枚数でプレイするのです**。
使用するカード枚数は「**プレイヤー人数×10+4**」で、**1 から順番**に使用します。
<例>: 3 人プレイの場合は、34 枚。1～34 のカードでプレイします。
4 人プレイの場合は、44 枚。1～44 のカードでプレイします。
それ以外のカードは使用しません。

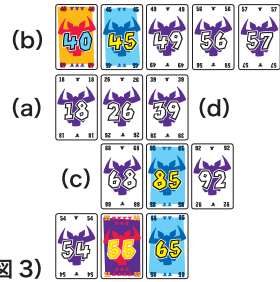
2. 【論理】

プレイヤーは、**手持ちのカード 10 枚を自分で選びます**。これは、「1. 【戦略】」のルールに以下のルールを追加してプレイします。
・カードを**表向きにして**テーブルの上に広げます。各プレイヤーは、順番に 1 枚ずつカードを取っていき、各自の手札が 10 枚になるまで続けます。そして、場に残った 4 枚のカードを、最初の 4 つの列にします。
このバリエーションは、思考ゲームを好まれる方におすすめです。特に 2 人プレイの場合に適しています。このときは、1～24 のカードでプレイします。

3. 【プロフェッショナル】

カードを列の左側または右側の**どちら側にも置くことができます**。**左へ行くほど数字が小さくなり、右へ行くほど数字が大きくなります**。列に 6 枚目のカードを置いたプレイヤーが、通常のルールと同様、列を取り、マイナスポイントを獲得します。
列の右側、および左側に置くときは、**その差が一番少ない列**に置かなければなりません。
差が同じ場合は、カードを出したプレイヤーが置く列を決めます。

- 【例】ゲームの中盤で、(図 3)のような列になっています。
プレイヤー達の出したカードは「5」「17」「58」「62」でした。
1) まず、「5」を 2 列目の左側(a)の場所に置きます。
2) 次の「17」は、1 列目の左側(b)に置くことになり、出したプレイヤーは列を引き取らなければなりません。「17」のカードは、「40」のカードの**あった位置**に置きます。
3) 「58」は 3 列目の左側(c)に置かれます。
4) 「62」を 2 列目の右側(d)に置きます。



(図 3)

どの列にもカードを置くことができない場合は、通常のルールと同様、任意の列を引き取ります。

【プロフェッショナル】 ルールは、通常のゲームより明らかに複雑なゲームとなっています。
間違いのないように注意してプレイしなければなりません。
これは、通常では簡単すぎる、というプレイヤー向きです。

4. 【オープン】

「1」のカードを抜き出して、**スタートプレイヤーマーカーとして使用**します。 最初はもっとも年長のプレイヤーが持ちます。
そのあと、通常ルール通り、カードをよく混ぜて各プレイヤーに 10 枚ずつ配り、4 枚をテーブル上に表向け、4 つの列とします。
スタートプレイヤーは、カードを 1 枚表向きにします (まだ列には置きません)。 続いて左隣のプレイヤーが同様に 1 枚を表向きにします。 つまり、**2 番目以降のプレイヤーは、他のプレイヤーの出したカードを見てから、自分が出すカードを決める事ができます**。
すべてのプレイヤーが 1 枚ずつ表向きにしたら、通常のルールに従って、カードを列に並べていきます。 これで 1 ラウンドが終了です。
スタートプレイヤーマーカー(「1」のカード)を左隣のプレイヤーに渡します。 すなわち、最初にカードを出すプレイヤーが、ラウンド毎に変わっていくことになります。

■上記以外にも、バリエーションルールがあります。

メビウスゲームズのホームページでは (上記を含めて) 8 種類のバリエーションルールを紹介しています。 ニムトを、より戦略的に遊びたいと思われる方はぜひ挑戦してみてください。

<http://www.mobius-games.co.jp/Amigo/6nmmtVariante.htm>

ルール問い合わせ先



東京都文京区後楽 1-1-15 梅澤ビル 5 階
Tel 03-3815-5956 Fax 03-3815-7956
shop@mobius-games.co.jp
<http://www.mobius-games.co.jp/>